

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	てあてるの芽 大阪港		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 18日 ～ 2025年 2月 8日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日 ～ 2025年 1月 25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間での連携、役割がきっちり決まっているので 共通認識をしっかりと持っている。	カンファレンス等以外の時間でも勤務中は常に利用児について 職員間で共有している。 事業所独自のリーダー制度を取り入れ職員1人1人役割を意識 して円滑に業務を進めている。	今後は保育所や小学校、他施設ともより連携をはかり 外部とも共通認識をしっかりとっていく。
2	有資格者が多く、専門的な支援内容が充実している。 困りごとに応じた1人1人に合った支援ができる。	困りごとについて職員全員で様々な視点からアプローチしてい る。	他事業所の職員とも連携を図りよりよい支援へと繋げてい く。
3	SSTや外出、食育等様々なイベントを通して楽しみながら 支援している。	外出・クッキング・サイエンス・ルールのある遊び等 毎月バランスよくイベントを計画し実施している。	今後保護者を含めたイベントを開催したい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ドライバーの人数をもう少し増やしていきたい	ドライバーにも子どもと関わるスキルを高い基準で 求めている為	常に求人を出して募集はしている。
2	施設の広さは、ゆったりとした空間を提供する大きなメリット がある反面、目が行き届きにくくなる可能性がある。	ブレイルームの面積が広い。	視界が遮らないような空間作りやスタッフの効果的な配置を 通じて、広い施設を最大限に活かしながら、細かなサポート を提供できるように意識して取り組んでいる。
3	災害時に施設の場所の関係で、お子様の受け渡しスムーズに 行きにくい可能性がある。	港区の中心地から離れた場所に立地している為。	災害時のマニュアルや避難場所を定期的に保護者にも 共有することで、安全意識を高める。